

標記について下記のとおり報告します。

報告者 部会長 竹内 仁

日 時	2014 年 5 月 19 日 (月)
場 所	城陽市福祉センター 2 階和室
出 席 者	(有)ファンシステム(1 名)、就労促進授産支援ネットワーク (1 名)、宇治支援学校(1 名)、あんびしゃ(1 名)、はびねす (1 名)、城陽作業所(1 名)、野の花 (1 名) みんななかま(2 名)、(参加者数：9 名)
欠 席 者	庭一造園(1 名)、(株) ナプラス (1 名)、魁(1 名)、あっぷ(1 名)、福祉課(1 名)
検 討 課 題	1、福祉情勢・就労に関わる情報の共有 2、2014 年度就労部会の方向性 (方針) 3、その他

【議事録】

1、福祉情勢・就労に関する情報の共有

2、2014 年度就労部会の方向性 (方針)

・議論と確認

*就労部会とあんだんて (就労促進授産支援ネットワーク) の役割とは、すみ分けがわかりにくい。

*あんだんての役割は、優先調達法に対応するという役割がある。

*負担が大きくなるが担うことができるのか。ほっとはあとの城陽市版になってくる。

*工場の流れ作業を例にとると、お弁当のうめぼしを入れる穴を指で押すだけの作業でも、そういう役割が集まってひとつの仕事になるといえる。役割が例え全体の 0.1%であったとしても、きちんとした労働と言える。

*支援学校においては、就労を目指す人は、まず自主通学できることが最低条件となる。

*B 型の中でも重度の人はたくさんいる。企業側から見た視点というものも大事である。

*企業へのインターシップに関して、対象者の情報を書式に記入して提出してもらいたい。各事業所から 1 名ずつ。

*現場のトイレが気になる。男女の条件も異なるので。

*意欲をそがれない程度の体験が良い。普段の取り組みでは、少しずつ慣らしていくようにしているので、1 日体験くらいが適切かと思う。

*最初に嫌になってしまうと、「実習」と聞くだけで嫌になる人が出てくる。

*理解がある体験先として、DIVE の掃除などはどうか。外仕事が苦手な人に関しては、室内作業でどうか。

*青谷の梅工房はどうか。やっておられる方がとても良い方なので。

*学校からは選定からもれたところでも、いけるところがあるかもしれないので、企業情報を伝えることはできる。

*オレンジゴルフは受付の対応がとても良いので、受け入れもしてくれるのではないかな。

*福祉事業所見学についてですが、8～9 月で行きたい旨を伝えており、現在探してくれている。

*就労部会としては、障がいのある人のステップアップ (福祉事業所でのステップアップ、福祉事業所から一般就労へのステップ等) を軸に、インターシップ・実習・見学等 取り組んでいく。

・プレゼンについて

*前回の就労部会の確認を踏まえ、今回のプレゼンは、6 月の 18 日か 20 日に行う。実施方法としては、授産製品も主として関わっている、就労促進授産支援ネットワークと合同で実施。方向性として、プレゼン実施の中心的役割を担うのはネットワークへ状況に応じて移行させていく。就労部会とネットワークの合同実施は継続して方向で確認。

3、その他